

3 令和8年度事業案について

区の目標（案）

「安全・安心のまち、人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまち、明日に誇れるまち」の実現

区の使命（案）

- ・災害に強く、安全で安心な美しいまちの実現
- ・つながりが育成され、地域コミュニティが活性化し、いきいきと健康で生活できるまちの実現
- ・子どもの笑顔が輝き子育てに伴う喜びが実感できるまち、未来社会を担う人材が育成されるまちの実現
- ・まちのにぎわいと魅力が高まり、区民が誇りを持ち、住み続けたい、訪れたい、住みたいと思うまちの実現



都島区将来ビジョン 2030（案）めざすべき将来像

1 安全・安心のまちづくり	3 子どもが輝くまち
1-1 防災のまちづくり 全区民が災害の備えをし、助け合って避難行動できる状態。	3-1 安心して子育てできるまちづくり 授乳や育児について相談しやすい環境が整い、育児不安が解消され、いきいきと健康に暮らせる状態。子どもや子育て世帯がライフステージに応じた支援を受けることで、子どもの笑顔が輝き、子育てに伴う喜びが実感できる状態。
1-2 防犯のまちづくり 全区民が防犯を意識し、犯罪を抑止する環境が整っている状態。	3-2 未来社会を担う人材育成 経済状況や家庭環境に左右されることなく、すべての子どもが将来の夢や目標をもち、未来社会を担う人材が育成される状態。
1-3 安全で美しいまちづくり ごみのポイ捨てや放置自転車が減少し、環境に優しく、誰もが安全に通行ができる状態。	
2 人がつながり・いきいきと暮らせるまち	4 明日に誇れるまち
2-1 コミュニティ豊かなまちづくり これまで培われてきた人と人との「つながり」や「きずな」を礎にしながら、新たな生活様式を踏まえつつ、あらゆる世代が生涯学習や地域活動への参加・参画による「まなび」を通してつながりを育成し、持続的に地域コミュニティが活性している状態。	4-1 にぎわいと魅力あるまちづくり 三方を川に囲まれた都島区の恵まれた自然環境、立地、歴史・文化、産業などの特色を活かした地域の活性化が図られ、まちのにぎわいと魅力が高まり、区民が誇りを持ち、住み続けたいと思うとともに、多くの人々が訪れたい、住みたいと思う状態。
2-2 いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり 地域に福祉の身近な相談窓口があり、地域住民がお互いに見守り活動を行うことにより、安心して生活できる状態。また、区民がいきいきと健康で生活することができる状態。	4-2 区の魅力創出 さまざまな媒体を通して、暮らしに関する情報や都島区の魅力を発信し、区内外に届けることで区民や来街者等が関心を持ち、都市イメージの向上が図られている状態。

3

令和8年度事業案について

1. 安全・安心のまち

1-1 防災のまちづくり

1-2 防犯のまちづくり

1-3 安全で美しいまちづくり

現状・課題

防災のまちづくり

災害への備えとして個人・家族での取組（自助）は比較的進んでいるものの、地域の助け合い（共助）の構築を進めていく必要がある。

防犯のまちづくり

区内で依然として犯罪が多発していることや令和8年4月の道路交通法一部改正に伴い、自転車の交通違反にも交通反則通告制度が適用されることから、警察と地域と連携した啓発等により、区民の防犯・交通安全意識の向上を図る必要がある。

安全で美しいまちづくり

区内各所では、さまざまな団体や個人による清掃活動が積極的に行われているが、活動の全体像を区役所として把握しきれていな。活動情報の共有や交流の機会づくりが求められている。

8年度の取組案

防災のまちづくり

町会やマンション管理組合などが実施する防災訓練をはじめとしたさまざまな取組に対し、講師の派遣や訓練プログラムの提供などの支援を行う。また、新たな取組として、防災BOOKの活用や中高生を対象としたユース防災リーダーの育成を推進する。

防犯のまちづくり

地域の登下校見守りと連携した青色防犯パトロール車による巡回や、学校園をはじめ幅広い年齢層への自転車マナーアップ等の出前講座を行うとともに広報誌、SNSなどさまざまな媒体を活用し、情報発信を実施する。

安全で美しいまちづくり

区内で展開されているさまざまな清掃活動を区のSNS等で紹介し、情報を「見える化」することで活動者同士の連携を促し、地域の美化活動をさらに推進する。さらに、「新！都島クリーン作戦」などへの参加を呼びかけ地域と団体等とのネットワークの構築を図る。



◀地域防災活動への支援
地域が取り組んでいる避難所開設運営訓練などでは、規模や時間帯に応じて支援を行っている。



◀新！都島クリーン作戦
11月を清掃月間として一斉清掃日を設け、ボランティア清掃活動を呼びかけることで環境美化意識の向上を図り、ごみのないまちをめざしている。



◀職員による地域安全対策（青色防犯パトロール）事業
地域見守り隊の皆さんと共に、登下校の見守りのほか、警察と連携し小学校等で出前講座を実施している。

3 令和8年度事業案について

2. 人がつながり・いきいきと暮らせるまち

2-1 コミュニティ豊かなまちづくり

2-2 いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり

現状・課題

□コミュニティ豊かなまちづくり

個人の生活様式や価値観の多様化などにより、人ととのつながりの希薄化が進むとともに、地域活動の担い手不足やライフスタイルの変化などにより地域活動への参加意識が低下している。

□いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり

地域コミュニティの希薄化や社会的孤立を背景に、福祉課題の「複雑化・多様化・深刻化」が進み、ひとり暮らしの高齢者や障がい者のいる世帯、子育てに悩みを抱える世帯などの地域での孤立や災害時における要援護者の把握などが課題となっている。また、いずれの相談機関にもつながらず、亡くなった状態で発見されるケースも起きていることから、地域における要援護者に対する見守りの必要性はより増している。

8年度の取組案

□コミュニティ豊かなまちづくり

さまざまな広報媒体を通じた地域の「交流や活動」の情報発信及び住民間交流の促進、町会加入促進や担い手拡大など地域の実情に応じたきめ細やかな支援などを行い、より多くの住民参加による自律的な地域運営を推進する。

□いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり

各地域の福祉会館等に地域福祉コーディネーターを配置し、地域住民からさまざまな相談に応じるとともに、相談内容に応じ、適切に関係機関につなぐ。

また、関係機関と連携し、福祉サービスにつながっていない要援護者にアウトリーチ（本人から要請がなくても積極的に援助を行うこと）を行い、自ら相談できない人を発見し支援につなげていくとともに、見守り活動のコーディネートを行い、見守り活動が自主的かつ円滑に進むよう、支援体制を整備する。



▲区ホームページにおいて地域交流や活動を紹介
→令和6年度コンテンツ閲覧者数 5,013件



◀百歳体操

定期的・継続的に地域で人と人が楽しみながら交流できることから、高齢者の孤立を防ぎ見守りになっている。

◀福祉コーディネーターによる相談

- ・地域福祉コーディネーターによる、電話・訪問・来所での見守り活動件数
→令和6年度 13,262件
- ・地域福祉コーディネーターが住民から受けた福祉相談を地域包括支援センター・プランチと連携した件数
→令和6年度 7,972件

3

令和8年度事業案について

3. 子どもが輝くまち

3-1 安心して子育てできるまちづくり

3-2 未来社会を担う人材育成

現状・課題

安心して子育てできるまちづくり

子育ての不安や悩みを保護者だけで抱える傾向にあり、社会全体に頼るという意識が定着していない。

また、発達障がいやその疑いのある子どもへの関わり方及び、不登校・行き渋りなどによる社会的な孤立を懸念する相談が増加している。こうした保護者の不安に寄り添い、子育ての不安感・負担感を軽減する必要がある。

また、コミュニティが変化し、出産・育児の手技等に関して相談できる者が周囲に少ない。

未来社会を担う人材育成

子どもを支える人や場が不足しており、将来の夢や目標を持つことのできるよう、学びや遊びを通じた子どもの成長の機会が失われている。

8年度の取組案

安心して子育てできるまちづくり

身近に相談できる場所として子育て支援室や子育て支援施設の情報を発信する。

臨床心理士等による子育て相談、支援関係者・保護者を対象とした発達障がいに関する研修等を実施し、発達障がいや不登校などの課題を抱える子どもやその家族への支援を行う。

初めての出産を迎える共働き世帯や多胎妊娠婦とその家族が不安なく出産・育児が行えるよう支援とともに、産後の授乳や子育てについて相談しやすいよう身近な地域等で講座や教室を行う。

未来社会を担う人材育成

学習支援を含む「子どもの居場所」の開設や、子どもの習熟度に応じた学力向上及び学習習慣の形成を図ることを目的とした「課外授業」の実施等により、子どもを支える環境の充実に取り組む。



▲子育て EXPO にて、子育て相談を同時開催

保育所、認定こども園、幼稚園など今後の入園先などの相談と同時に、子育て支援施設の案内や、健康相談、子育て相談も同時開催し、気軽に相談できる場を提供した。



▲都島区課外授業「みやこ塾」

都島区内の中学生及び小学5・6年生を対象に、基礎学力の向上等、子どもの習熟度に応じた学力向上及び学習習慣の形成を図るために、課外授業を実施している。

3

令和8年度事業案について

4. 明日に誇れるまち

4-1 にぎわいと魅力あるまちづくり

4-2 区の魅力創出

現状・課題

にぎわいと魅力あるまちづくり

三方を川に囲まれた都島区が持つ恵まれた自然環境や、歴史文化といった高いポテンシャルを生かした地域の活性化を図るために、自然環境を活用したイベントの実施や区民等参加型による魅力創出・発信の取組が必要である。

また、今後のまちの変化に対応し、より戦略的な施策展開を行うため、長期的な視点での区の将来像を示す「都島区まちづくりビジョン2040」を令和8年春に策定予定であり、その実現に向けた取組を進めていく必要がある。

区の魅力創出

区が発信する情報の取得手段として「広報誌」の定着はみられるが、対象や発信する内容に応じて、ホームページやSNSの利用を高める必要がある。また、都島区の恵まれた自然環境、立地、歴史・文化などの資源や魅力向上の取組についての情報発信が必要である。



◆都島区魅力フォトコンテスト
「私が切り取る、都島区の知られざる美しさ」をテーマに景観写真を募集。入賞作品を広報誌・ホームページ・とつき一カレンダーなど区の魅力発



▲Green Oasis 都島(10月12日開催)
京橋エリアのニーズや課題を把握するために開催したイベント。

8年度の取組案

にぎわいと魅力あるまちづくり

水辺のまちづくりとして大阪府や関連団体と連携・協働したビーチイベントの開催や、区の魅力を発信するフォトコンテストの実施を通して、区の魅力を高め、区民が誇りをもって住み続けたい、多くの人が訪れたい、住みたいと思う状態をめざす。

また、都島区まちづくりビジョン2040の実現に向け、京橋地区や都島区北部（淀川沿岸）を中心に、スタートアップとなる取組を行う。

区の魅力創出

「大阪市情報発信等最適化施策」(※)に基づき、情報発信する内容やその対象に応じて、ホームページ、SNSなどを活用した多角的な広報を推進する。

※市民QoLの向上に寄与する情報発信実現のため、デジタルツールなどを活用した今後の情報発信・サービス提供の最適化施策について、デジタル統括室及び政策企画室が令和6年3月に策定したもの。

大阪市公式LINEアカウントにおいて、都島区を受信設定している登録者数

R6.3月 2,090人

R7.3月 2,573人

R7.10月 2,761人

※令和6年1月、都島区LINEアカウントを大阪市公式LINEアカウントへ移行



◆都島区広報誌